

## 平成 29 年度事業報告

### 5) 東海地方会

(地方会長：斉藤 政彦)

1. 総会を7月1日(土)に浜松市、11月11日(土)に名古屋市にて開催した。
2. 理事会を3回(7月1日、10月14日、1月20日)開催した。
3. 平成29年度日本産業衛生学会東海地方会学会を開催した。  
開催日：11月11日(土) 9:30~16:40  
会場：名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟 11階 講義室 A, B  
一般演題 10題

メインテーマ：「産業保健におけるエビデンスの創出と活用」  
基調講演「女性のライフステージに応じた、働く女性のサポート」  
演者：鈴木孝太(愛知医科大学衛生学講座 教授)  
シンポジウム「携帯型デバイスが拓く産業保健活動の新たな可能性」  
座長：上島通浩(名古屋市立大学大学院医学研究科 教授)  
「ウェアラブル端末による化学物質曝露とその影響測定の前線」  
中山 祥嗣(国立研究開発法人国立環境研究所環境リスク・健康研究センター曝露動態研究室 室長)  
「スマホ内蔵センサーによるライフログ・データ解析の産業保健応用」  
榎原 毅(名古屋市立大学大学院医学研究科 環境労働衛生学 講師)  
「携帯機器による生体信号モニタと健康寿命」  
早野 順一郎(名古屋市立大学大学院医学研究科医学・医療教育学分野 教授)  
参加者数：160名(会員：109名、非会員：37名、学部学生14名)

4. 平成29年度日本産業衛生学会東海地方会総会ならびに研修会を開催した。  
開催日：7月1日(土) 13:00~17:00  
会場：サーラシティ浜松 3F 多目的ホール・スクエア B  
研修会 ～ ストレスチェックからはじめる職場環境改善 ～  
座長：内野 文吾(ヤマハ発動機株式会社)  
講演1：ストレスチェックにおける集団分析と職場改善活動  
吉川 徹 先生(労働安全衛生総合研究所)  
講演2：職場主体で進める環境改善・組織活性化  
～パナソニック ES 社の取り組み例～  
田中 宣仁 先生(パナソニック株式会社エコソリューションズ社)  
講演3：東海旅客鉄道(株)におけるストレスチェックと健康診断情報の効果的な活用について  
長原 智子 先生(東海旅客鉄道株式会社 静岡健康管理室)  
参加者数：104名

5. 地方会四部会による活動が以下のように実施された。
  - ・産業医部会  
産業医部会懇話会(実施予定)  
開催日：3月10日(土) 14:00~17:00  
会場：ウィング愛知 1207 会議室  
講演：『産業医活動と衛生学、公衆衛生学』

講師：塚原 照臣（信州大学医学部 公衆衛生学教室 教授）

会員活動報告・討論

報告1 より広がる産業保健活動に向けて

道井 聡史 先生（本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所）

報告2 現地現物の考えを産業医活動に

平野 貢 先生（豊田自動織機 刈谷工場）

報告3 専属産業医から嘱託産業医へ ～女性産業医のワークライフバランスの模索

足立 留美子 先生（アールエイチ産業医事務所）

・産業看護部会

産業看護部会研修会

開催日：1月13日（土）13:30～16:45

会場：中部大学名古屋キャンパス（名古屋市）

午後の部1 「産業看護部会本部との懇談会」

「産業保健看護専門職制度の現在」

講師：住徳松子副部長

午後の部2 「講演 健康経営における産業看護職の役割」

座長：高崎正子（東芝メモリ）

「健康経営とこれからの産業看護職に望むこと」

講師：森 晃爾先生（産業医大）

「健康経営における産業看護職の役割を知る」

講師：住徳松子先生（アサヒビール）

参加者：89名

・産業衛生技術部会

東海産業衛生技術部会第9回特別企画

開催日：12月16日（土）13:00～16:30

会場：中部大学名古屋キャンパス（名古屋市）

I 基調講演（座長：大同分析リサーチ 新谷良英先生）

「粉じんの健康影響について」

宇佐美郁治（旭労災病院副院長）

II 有機粉じんに関する最近の話題

（座長：中央災害防止協会 中部安全衛生センター 鹿島聡子先生）

「木材粉じん曝露とその対策について」

小嶋 純（労働安全衛生総合研究所）

「樹脂の製造工程について」

矢次 豊（三菱ケミカル(株)四日市研究所 高機能ポリマー研究室  
ポリエステルグループ マネージャー）

\*指定発言 土屋真知子（(社)静岡県産業環境センター）

III 意見交換会（自由討論）

・SPM（浮遊粒子状物質）の話題

・その他

参加者数：30名

・産業歯科部会

第12回研修会

開催日：10月22日（日）10:00～13:00  
会場：ルブラ王山（名古屋市）  
講演：混合研究法の意義と方法  
講師：尾島俊之（浜松医科大学教授 健康社会医学講座）  
参加者：12名

6. 第30回産業保健スタッフのための研修会を開催した。

開催日：1月27日（土）13:00～16:45

会場：安保ホール（名古屋市）

教育講演

「海外勤務者の健康管理 問題点と支援のありかた」

講師：大越 裕文（渡航医学センター西新橋クリニック 元 JAL 主席医師）

パネルディスカッション

「企業からの海外渡航者に対する 具体的支援について考える」

座長：上原正道 酒井秀精

「産業医の視点から見た支援の実際」内野文吾（ヤマハ発動機(株) 産業医）

「看護職の役割 ～海外巡回の健康相談を通して」工藤香奈（イビデン(株) 保健師）

「海外渡航者への歯科指導のポイント」青山行彦（青山歯科室 産業歯科医）

「海外医療コンサルタントによる支援」兪慶禮（(株)ウェルビーマーケティング ジャパン）

参加者数：81名（会員：44名、非会員：37名）

7. 地方会内の研究会活動を以下のように実施した。

・振動障害研究会

第31回振動障害研究会

開催日：1月20日（土）13:00～16:30

会場：名古屋大学医学部保健学科（名古屋市）

1. 「様々な振動工具の測定結果から」

池田 和博（北海道安全衛生研究所）

2. 「振動工具のロボットアーム利用と低振動・静穏化」

渡部 幸雄（アピュアン株式会社）

3. 「三軸振動に対する防振手袋の振動軽減効果について」

柴田 延幸（労働安全衛生総合研究所）

4. 「振動障害に対するマルチパラメータ評価法の検討」

蔭山逸行、増田宏、石竹達也（久留米大学医学部環境医学講座）

5. 「林業労働における振動工具使用者に見られた筋萎縮症例の検討」

三宅 成恒（京都市城南診療所）

参加者：21名

8. 地方会ニュースを2回発行した。

第88号（7月1日）、第89号（平成30年1月17日）

9. 事務局の管理で UMIN に設置したホームページを運営し、地方会関連行事や理事会の案内などを行った。（<http://tosh-net.umin.jp/>）

